

令和元年度 第1回八雲町広報懇話会会議録（要旨）

- 日 時 令和元年11月22日(金) 13:30～14:40
- 場 所 八雲町役場3階第1委員会室
- 出席委員 松田紀嗣、伊藤義親、小島美紀
- 事務局 協働推進係長、協働推進係主任、協働推進係主事
- 傍聴者 なし

1. 開会

2. 協議事項

(1) 広報やくもについて

①記事の内容（文章量・話題など）について

(委員)

広報懇話会で毎年いろんな意見が出ており、それが反映されて現在の広報が出来ていると感じている。

11月号のP10の会議の公開ですが、日程順になっていた方が良いのではないかなと思いました。

(事務局)

記事を作る際にいただいた原稿をいただいた順番に入力している。

読みやすさからいくと日程順の方がわかりやすいと思うので、今後改善していきたいと思う。

(委員)

重要な順番で配置しているとかではないのか。

自治基本条例自体が町民の意見を聞く会議として会議公開は条例で決まっており、条例順に沿って並べるのも一つの手ではあるが、日程の公開というのは、これだけの会議に一般の人が参加するのがあるのかと疑問に思う。それであれば、文章を簡略化し、日時等だけでもいいのではないのか。

内容によっては興味を持つ人もいるのではないのか。

日程順にするべきか、条例順にするべきかは担当者の判断でいいのではないのか。

パット見たときにいろいろとやっているなという印象があり、日程順でなくてもいいのではないのか。

②レイアウトについて

(委員)

イベント情報は横書きにして、日付をもっと目立つようにしてもいいのではないかと思う。

縦に並んでると見づらいと思うので、日付を横にした方が目に行くのではないのか。

基本縦だが、横のほうがインパクトがあり、わかりやすい。

(委員)

基本的に広報は空欄を取らないほうがよく、横書きにすると空欄ができる可能性がある。

新聞の誌面でも縦書きで予定枠があり、それに沿ってはめ込んでいくが、スペースが空きすぎると不自然に感じる。イベントの関係でも少し左側が空いてるのが気になる。タイトルを全部右側にそろえるのに合わせたと思うが、左側の部分も考えながらやった方がいいのではないのか。

IPの中に簡潔に納めるのが基本であり、空欄はもったいないので、活字やイラストを利用したほう

がいいと思う。

(委員)

活字が多くなったからと言って金額が高くなることはないのか。

(事務局)

1Pあたりの単価が決まっているので、活字が多くなったから単価が上がるということはない。

③フォントについて

(委員)

大きく変える必要はないと思う。

何回もフォントの変更した経過があり、現在で変える必要はないのではないのか。

(事務局)

広報懇話会の意見を反映し、フォントを変えたりしている。

(委員)

広告で使用されているフォントは業者で作っているのか、広告先の指示なのか。

(事務局)

基本的には広告先の指示で作成しており、指示がなければ業者と協議してこちらで作成をしている。

(委員)

過去にやったのは道新が11文字で高さを設定しており、高さが同じであれば、読みやすい字の大きさになるのかという意見も出た。現在の広報は13文字で設定しているので、新聞に比べると少し小さいのではないのか。

新聞も大きい活字にしてきた経過があるので、空白を埋めるために活字を大きくするのも一つの方法ではないか。

全体的に大きくではなく、その記事だけ大きくすることはできないのか。

(委員)

全体の統一もあるので、その記事だけ11文字にするのは厳しい。

(事務局)

現在フォントが11でしているが、業者の専用ソフトによるフォントで若干変わることがある。

(委員)

12だと大きすぎるし、ページ数も多くなると思う。

(委員)

今金町などの広報紙を見ると、字が大きく見やすい印象を受ける。

(委員)

1段何行で収めるなどルールはあるのか。

(事務局)

いただいた記事を元に一段の中に収まりそうであれば、削ったりなどの作業をしている。行間のスペースを写真やイラストなどを活用しながら2段などにして整理を行っている。

④写真・イラストについて

(委員)

11月号のP10. 11. 15の空白部分に小さなイラストが全てとは言いませんが、入っているとよかったのではないかと思います。イラストを選んで縮小をかけてみてはどうでしょう。

各記事に合わせたイラストが適宜使われていて良いと思う。

1Pのテーマが大体決まっていると思うので、文章量を削減するには1Pの半分でテーマを伝える必要があり、過去に読んでいて物足りない内容になっていたことがあり、問い合わせしようとしてそのままになり、苦情の対象や親近感がなくなると過去の広報懇話会で出た経過がある。

(委員)

広告などはスペース枠を使いながら活用しているのか。

(事務局)

金額により枠が決まっている。

(委員)

拡大するなどはできるのか。

(事務局)

金額設定がそれぞれの枠により決まっているので、拡大することは料金を別にいただかないといけない。

(事務局)

サイズで金額を決めている。適所に広告を入れている。

(委員)

一番小さい広告であればイラストが入らないところでも広告で埋めることが出来るのではないのか。

(事務局)

小さい広告が現在一社だけであるので、基本的にはイラストで挿入することをしている。

(委員)

写真については、レポート記事の写真をもっと大きく見せてもいいかもしれないと思いました。それか見たい人にはカラーで見られるようページ内に該当するPDFのQRコードを掲載するとか...

(事務局)

町ホームページには写真をカラーにして掲載している。

(委員)

写真だけほしい人にはどのように対応しているのか。

(事務局)

連絡をいただいた方だけこちらで現像とデータをお渡ししている。

(事務局)

ホームページに画像保存できるファイルを作るかどうかは情報等との連携が必要となるが、個人情報の取り扱いが必要である。

(事務局)

可能性はゼロではないが、先にホームページの情報を作ってから、広報ができる形にしないと、該当のURLやコードがない状況になってしまう。

(委員)

来月から、来年からなどは言わないが、いずれ求められる時代が来るのではないのか。

⑤その他

(委員)

編集後記などがあると嬉しいです。

(事務局)

昔はあったと聞いていたが、現在はない。他の自治体もあるところはあるが、ないところはない状態。

(委員)

編集後記は書くのが大変ではないか。

(事務局)

ほかの自治体の広報紙を読みことが多いが、編集後記があると目が行くが、八雲であれば戸籍の窓があり、紙面の関係で必ず編集後記を設けるのが難しいのではないか。

(委員)

広報紙はいろんな課から記事をもらって完成しているので、他の課との調整が難しいのではないか。

(事務局)

編集後記を載せるのであれば、毎月載せるのべきか。

(委員)

載せると今月は載せないのか、と言われると思う。印象に残っているのがあれば編集後記を書いた方がいいが、毎月であれば担当者が負担になるだけだと思う。

取材をして、取材者の気持ちに考えて編集後記を作らないといけないので難しいと思う。

(委員)

基本や役場等からの伝達事項になっているので、レポートやくもなどの取材を行わない限り、編集後記を書き続けることは難しいと思う。

(委員)

もともとの広報が薄く薄かったが、町民の皆さんにちゃんと読んでもらうために内容を理解してもらい意味でもページ数を増やし、読みやすくした経過がある。ページ数を削減してしまうと、どんな内容なのかわからず、問い合わせが増えるのではないか。

簡潔にすると中身がわからないまま記事を見過ごしてしまう危険性があるので、あえてページ数を減らす必要はないのではないか。それであればカラーにした方がいいのではないか。

(事務局)

以前は正月号だけカラーにしていた時もあった。

(委員)

町内のイラストレーターなども広報に活用するなどするとさらに面白くなるのではないか。

(事務局)

毎月広報を見た際になにかあればご連絡いただければと思う。